



全国高等学校総合体育大会(翔び立て若き翼 北海道総体2023) 1回戦

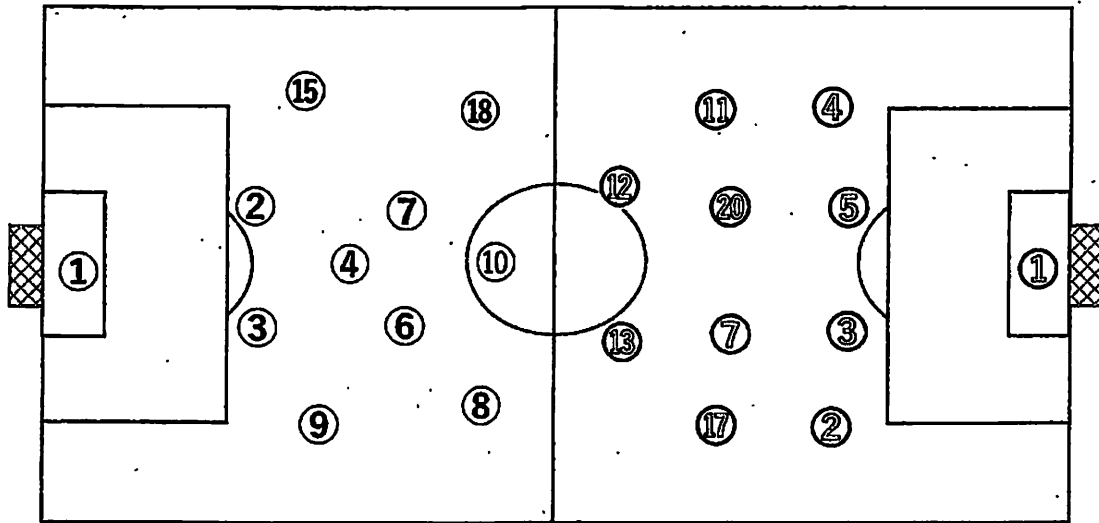
2023年 7月 26日 (水) 14:30 kick off 会場( 帯広の森球技場A )

マッチNo. [ 6 ]

鹿島学園 高校( 関東③ ) vs 作陽学園 高校( 中国 )

0 - 0  
0 - 0  
5 PK 4

基本システム 1 - 4 - 3 - 3      基本システム 1 - 4 - 4 - 2



【Match Report】

インターハイ出場2回目の鹿島学園(茨城県)と出場9回目の作陽学園(岡山県)との戦い。丁寧に繋ぎゴールを目指そうとする鹿島学園に対し、足元・スペースに入るボールに対する強さ・粘り強いディフェンスを見せる作陽学園。作陽学園の強固な守備陣を崩すため鹿島学園はMF⑩竹田が多様なボールタッチで左サイドから攻撃の糸口を探すがシュートまで行くことが出来ない。一方、作陽学園は奪ったボールをMF⑦福岡を起点にシンプルで速い攻撃を仕掛けるがこちらもシュートで終わることが出来ない。35分にはFW⑩玉井がペナルティエリア深くまでドリブルで侵入しシュートを打つも、GK①石田が素晴らしいシュートブロックを見せ、鹿島学園が優勢に見えたが両チーム無得点のまま前半を終了する。

後半始まり55分までの間に両チーム3人の交代をし流れを変えようとする。前半と変わって作陽学園が優勢の時間が続く。交代してはいったFW⑩阿間見が裏に抜けシュートを打つもキーパーの正面に終わる。60分には作陽学園MF⑦が左サイドを突破しアーリークロスを上げFW⑩がワンタッチでシュートを放つも枠を捉えきれない。70+1分にはMF⑪安部が右サイドからクロスを上げMF⑧森原がボレーシュートを放つもクロスバーに阻まれる。両チーム決め手を欠け、PK戦に突入した。

会場が静まり緊張が高まる中、PKを全て決めた鹿島学園が勝利した。暑い中激しい試合をした両チームの今後を期待したい。

記載責任者 所属( 青森県・八戸学院光星高等学校 ) 氏名( 力石 暁 )